

富山市社会福祉審議会児童福祉専門分科会概要
(第17回子ども・子育て会議)

1 開 会 (13時30分から)

(定員数：委員の過半数が出席すること。小島、富田、波岡、八木、山村各委員欠席)

2 こども家庭部長挨拶

3 議 事

第2期子ども・子育て支援事業計画策定について

・第2期子ども・子育て支援事業計画策定について、事務局から資料に基づき内容を説明

【主な意見】

委 員 登下校防犯プランの追加記載が述べられているが、県でも防犯連絡協議会が開かれ議論されていた。ボランティアの方が実施されているが、保護者の方が参加するのが厳しいという意見もある。関係団体との連携等も必要かと思われる。

委 員 今回策定する計画について、子どもの貧困対策を総合的一体的に推進していくということは素晴らしいと思う。子どもの貧困対策の推進は、子どもの権利条約に通じるものだと思うので、子どもの権利を守るということを計画の中ではっきりと示した方が良い。いじめも含めて子どもの権利を守る取組が必要である。

委 員 防災関係は別途の施策となるのか。水害の際に、保護者の方への子どもの引渡し等が大変だと聞いている。

委 員 就学前児童については日中の保育が保障されているが、共働き家庭において就学後の児童が不登校になっている場合などは、日中の支援が難しい状況になっている。今回の計画に掲載するのは難しいと思うが、そういう所も今後検討して欲しい。

委 員 子どもの貧困対策等が計画に一体的に位置づけられることによって、支援策が一目でわかるようになる。社会全体で子どもを育てる機運も高まるし、保護者は、自分の中で一番ハードルの低いところで相談するようになるので、支援施策がたくさんあり、それが一覧でわかり易くなっているといい。児童虐待を未然に防ぐ良いきっかけとなる。

委員 朝日町では、家庭で子どもをみる場合に補助制度があり、保育ニーズが下がったという例もある。富山市も検討してみたい。

委員 認定こども園の方に話を聞くと、0・1・2歳児に係る保育の公費負担は大きいと聞く。補助を出してご家庭で保育してもらった方が、全体では経費が掛からないと思う。

委員 教育・保育の無償化はプラスの制度改革だと思っているが、給食費については公立が一律4,500円であり、私立は任意となっている。施設によっては調理を業者に委託しているため金額が高くなってしまふ。同じ市の献立を使用しているのに負担してもらふ金額が変わってしまうので、園独自の献立にするなどの工夫をする必要がでてくる。

委員 無償化の問い合わせについては満3歳児が多かった。同じ満3歳児でも1号認定（教育）の場合は無償で、2号認定（保育）の場合は無償にならないため、その辺は公平性がとれていないと思う。

委員 学童ニーズが非常に高い、数も不足している現状があるかと思う。市として検討・対応していただいていることについては感謝している。今後引き続き対応をお願いしたいと思う。共働き家庭も非常に多く、ひとり親も増加傾向にあり、学童ニーズは依然として高いので、設置については引き続きお願いしたい。

委員 子どもの貧困対策については、新たに何か始めるのか。また「子どもの貧困」という表現についても検討してもらいたい。

（15時05分終了）